

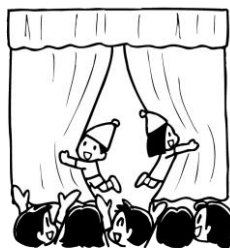
道徳指導案

研究主題

心豊かで道徳的実践力のある児童生徒の育成

授業展開

日時	平成26年6月17日(火) 14:00 ~ 14:45
場所	千葉市立有吉小学校
主題名	人間の気高さ
内容項目	3-(3)
資料名	カーテンの向こう
展開学級	6年4組
授業者	鈴木 陽介



第6学年4組 道徳 学習指導案

授業者 鈴木 陽介

1 主題名

「人間の気高さ」 [3－(3)]

2 ねらいと資料

ねらい	「ヤコブ」の生き方から、人間のもつ気高さや強さについて考え、美しいものや気高いものに感動し、尊重しようとする心情を育む。
資料	「カーテンの向こう」

3 主題設定の理由

(ア) ねらいや指導内容についての考え方

本主題は、学習指導要領の内容 3－(3)「美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。」を中心の道徳的価値としている。

世の中には、人間の想像を超えた神秘的な出来事や、限りなく美しいもの、気高いものなどがある。畏敬の念は、あらゆる道徳的価値の根幹にかかわる情操の一つである。人は、自分の弱さを乗り越え、崇高な美しい生き方を望む気持ちがある一方で、自分さえよければいいという自己中心的な心や、人の幸せをねたむ醜い心をもつこともある。だからこそ、人間に対する深い理解と共感を持ち、だれに対しても温かいまなざしを向け、思いやりの心で接することが大切である。そのことにより、人間として崇高に生きる喜びも生まれてくることに気づかせたい。また、普段の生活での小さな出来事のなかにも、美しいものや神秘的なものがあることに気づき、感動をもって身の周りのものを見ることができるようになりたい。

この時期の子どもたちは、抽象的、論理的に思考する力が増し、自然や崇高なものとのかかわりにおいても、自然の摂理に感動し、その生と死という人間の力を超えた大いなるものへの畏敬の念も培われてくる。だが、夕日の美しさに感動したり、植物の発芽の様子に驚いたりする面がある一方で、クールに物事をとらえ、感動を素直に表現できなかつたり、関心をもっていること以外には気を留めなかつたりする傾向がある。

そこで、児童の感性に訴えて、美しいものや素晴らしいものに素直に感動する心情や、人間として崇高に生きる喜びも生まれてくることを大切にしようとする心情を養いたい。

(イ) 子どもの実態と教師の願い (男子18名 女子13名 計31名)

本学級の子どもたちは、素直で、活発に活動に取り組む子が多い。敬虔という視点から見ると、例えば、夕日の美しさに感動したり、植物の発芽の様子に驚いたりする面がある一方で、人の目に気にして、素直に感動を表現できなかつたり、茶化したりする態度が見られる。人に対する行動にしても感謝の言葉はあるものの、それが当たり前なことと特に何も思っていないことが多い。

この学習を通して、人間のもつ気高さや強さについて考えていく。美しい心、気高い心に触れて、自らの心の中にあるものを掘り出させ、美しい心、気高い心を感じ取らせたい。そこから、人物の生き方を通して、自らのこれまでの活動に対する気持ちを振り返らせたい。また、そのような心情を大切にしようとする気持ちにつながることを期待する。

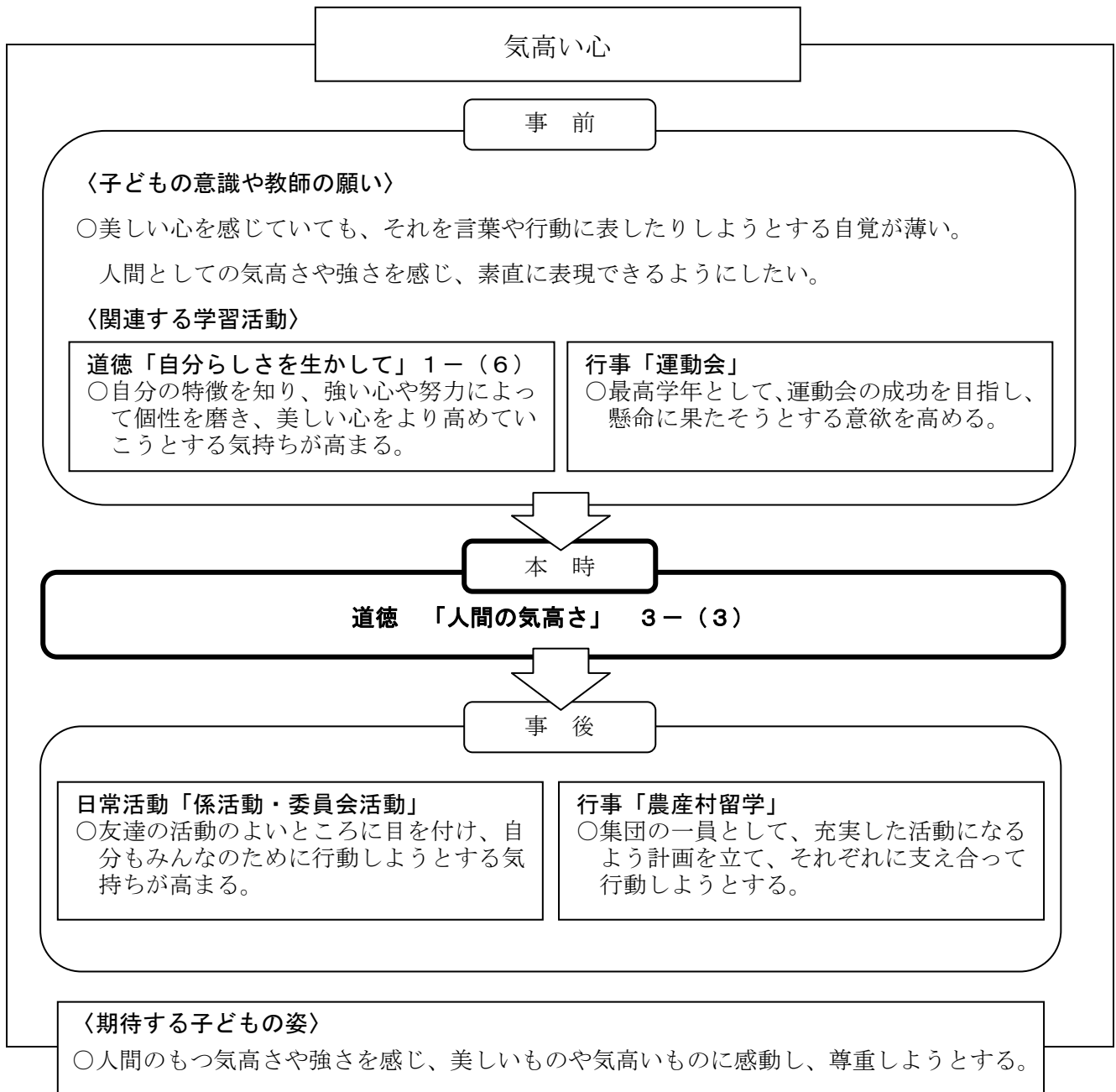
(ウ) 使用する資料の特質や意図及び子どもの実態とかかわらせた指導の方策

本資料は、死を待つだけの重症患者が入院している薄暗い病院の一室を舞台に繰り広げられる物語である。その病室は、窓がたった1つしかなく、分厚いカーテンによっていつも閉ざされている。その窓の外を眺めることのできるヤコブに対する「私」の心の動きを中心に描かれている。

カーテンの向こうがレンガの壁であったことを知った「私」が、その後、病室の人たちにどんなことを話し伝えるのか、また、ヤコブがなぜうそをついたのか、理由についても深く考えさせながら、人間のもつ心の気高さやすばらしさにふれることができよう。

人間はだれでも、人をねたんだり、恨んだり、うらやましく思う弱さや醜さを持っている。「私」の心情を通してそのことに気づかせたい。また、本当の優しさとは何か、本当の思いやりとは何か、「ヤコブ」の生き方から考えさせたい。そして、死を待つ患者が少しでも生きる希望を失わないよう、自分を奮い立たせながらも嘘をつき通した「ヤコブ」の生き方から、人間としての気高さや強さ、人間愛の深さについても学ばせたい。

4 指導構想（他の教育活動などとの関連）



5 研究の視点との関連

道徳的実践力を高めるための指導の手立てや工夫

○資料に共感し、関心を高めるための資料の提示

本資料の山場は、ヤコブが亡くなった後、「わたし」がヤコブのベッドの場所に移動する場面であろう。そこで、コンピュータをテレビに接続し、テレビの画面にはヤコブの見えるものが映し出されていると子どもたちに伝えることにする。そうすることで、子どもたちも「わたし」と同じような期待感をもって資料の世界に浸ることができると思う。(実際は、電源を入れていないような真っ暗な画面とする。) また、資料の場面と自分の想像していた場面とのギャップから、「ヤコブ」の思いにより共感することができ、自らのこれまでを振り返る場面でも、思いを書き表しやすくなると考える。

○日常の生活の中に発展させるための振り返りの場の設定

本時のねらいにせまり、今後につなげられるようにするために、ワークシートを活用し、これからの生活に生かしたいことを書くようにする。振り返りにおける書く活動は、子どもたちが授業を通して、自らを見つめ、これまでの自分を振り返ったりこれからの自分のあり方を考えたりする場となる。また、振り返りの場での気付きは、日常の様々な生活の場面の中にも応用していけると考える。子どもたちのこれから自分の取り組みたいことや今後の学習、体験活動と関連付け、今後につなげようとする意欲をもつことができるようにしたい。

6 本時の学習指導過程（展開）

過程	学習活動・主な発問	ねらいにせまる手立て	期待される子どもの姿と 予想される子どもの反応
導入	1 病気や病院の様子について想起させる。 ○もし病気になってしまい、病院に入院してしまったらどう思いますか。	○資料の登場人物と同じような場면을想起させることにより、共感しやすくなるようにする。 ○自分の考えをもたせることで、資料への関心を高められるようにする。 ○子どもの発言に共感しながら、自由に発表できる雰囲気をつくるようにする。	○どんな資料なのかと、本時の学習に関心をもって取り組もうとする。 ・たいくつ ・動きたいな ・遊びたいな
展開 前段	2 資料「カーテンの向こう」の前半の話を聞き、話し合う。	○話の結末がわからないようにするために、資料の最後の段落を消したものを配布する。 ○病室の暗い状況や生きることの楽しみが見出せない状況に着目させ、ヤコブの話が、みんなの生きがいになっていることをおさえる。	○ヤコブに対する「私」の気持ちの変化に気付く。

	<p>○ニコルの申し出を無視したヤコブをどう思いますか。</p> <p>3 資料「カーテンの向こう」の後半の話を聞き、話し合う。</p> <p>○やっとの思いでカーテンの向こうを見たときの「わたし」は、どんな気持ちになったと思いますか。</p>	<p>○ニコルの声かけにも頑としてその場所を譲ろうとしないヤコブのことを想起させ、ヤコブに対する「わたし」の気持ちがうらやましきから憎らしきに変化していくことをおさえる。</p> <p>○ヤコブが一番古いことを特権にして、一人で外を見ていることやニコルの申し出を無視したことに着目させ、人間の弱さや醜さを肯定的にとらえることができるようにする。</p> <p>○資料の最後の一文を読む前に、テレビの電源を付ける。</p> <p>○発問をする前に、「わたし」がカーテンの向こうに見えたものは何だったのか想像させることで、どんなものが見えるのか期待を膨らませる。</p> <p>○ヤコブのこれまでとってきた行動を想起させ、みんなのことを思って行動していたことに気付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷たい ・自分のことしか考えていない。 ・ニコルがかawaiiそう。 ・そのように思っただけだ。 ・ヤコブ、見そこなっただぞ。 ・人間としてどうなの？ <p>○人間のもつ気高さや強さを感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんでそんなことを ・ヤコブはぼくたちのために嘘をついていたんだ。 ・ヤコブ、「死ねばいい」なんてごめんね。
<p>展開 後段</p>	<p>4 これからの自分についてそれぞれの考えを話し合う。</p> <p>◎ヤコブはなぜそのようなことをしたのだろう。</p>	<p>○人間としての在り方を、より深いところから見つめ直すことができるように、ヤコブも死に直面していた状況に気付くことができるようにする。</p> <p>○自分のこれまでの経験やとってきた行動に気付けるよう、自らの考えをワークシートに記述する。</p> <p>○話し合いを通して、共感的に友達の考えを聞くことで、これからの自分についての思いをより明確にさせていく。</p>	<p>○人間のもつ心の崇高さや偉大さに感動し、大切さを感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなによるこんでほしい。 ・前向きな気持ちを忘れないでほしい。 ・生きる希望を忘れないでほしい。
<p>終末</p>	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習を通して、どのようなことを感じましたか。</p>	<p>○本時で考えたことを生かし、今後の生活につなげられるよう、これまでの自分のとってきた行動を振り返りながらワークシートに記述させる。</p>	<p>○美しいものや気高いものに感動し、尊重しようとする心情が育つ。</p>